アイセルシュラホール観光拠点化基本構想（案）について

藤井寺市

目的

古市古墳群周遊ルート上の最も主要な観光拠点、古墳ミュージアム（仮）として活用するにあたり、有識者や関係部署職員による検討会議を踏まえ、アイセルシュラホールの観光拠点施設としてのコンセプトや必要な機能を取りまとめることを目的とする。

基本理念

世界遺産である古市古墳群の価値をわかりやすく表現し、訪れる方々に「タビマエ」・「タビナカ」・「タビアト」のどのようなシーンにおいても活用される施設かつ、市民にも引き続き愛され、観光客との交流によりさらに発展的に利用される施設をめざす。

①世界遺産百舌鳥・古市古墳群の価値を表現
②古墳ミュージアム（仮称）として訪れる人が楽しめる施設
③市民にとってシンボル的な施設であり、市民も楽しめ、市民がもてなす観光拠点

観光案内計画

文化財展示計画

① 歴史展示コーナーと、世界遺産と藤井寺市の紹介コーナーの全2 コーナー構成で、世界遺産百舌鳥・古市古墳群を多面的なテーマで紹介

- 来館者が、世界遺産としての古市古墳群の価値を知る・学ぶにあたり、世界遺産としての価値を確実に来訪者に伝達し、古市古墳群を一層楽しめる施設をめざす。
- 古市古墳群の成立から、世界遺産百舌鳥・古市古墳群として現在にいたるまでの展示を展開することで、古市古墳群の価値や現在とのつながりを見られるようにする。
- 展示を見た後に、アイセルシュラホールから実際に古市古墳群へ足を運ぶ動機付けになるような展示を展開する。

②来館者・市民参加型の展示・活動の在り方を探求

- 展示室内に体験コーナーを設け、体験を通して来館者が古市古墳群について、り深く学べる場所を設ける。
- ボランティアや市民の参画を得ながら、ボランティアによる展示解説や、古墳の市民研究の場としても活用し、ともに展示をつくる試みをめざす。

スケジュール

パブリックコメント

＜期間＞
R5.2.27～3.12

＜閲覧場所＞

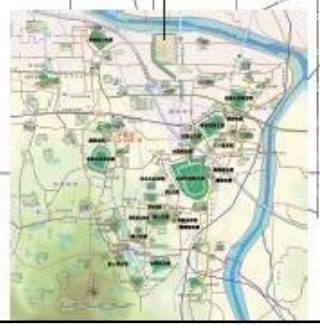
- 観光課（アイセルシュラホール1階）
- 市役所1階情報交流ひろば「ふらっと」
- 支所
- 図書館
- 市ホームページ

ゾーニング

1階　ビジターセンター

2階

展示施設

古墳ミュージアム（仮称）

世界遺産 World Heritage Site of Osaka
百舌鳥・古市古墳群
Mozu-Furuichi Kofun Group